

市政に対する一般質問

六月議会では、十二日から十六日までの五日間で行われ、二十八人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、似顔絵については議員がそれぞれ持ち寄りました。



選挙時の印象とかけ離れている

政津クラブ 山本 睦夫



質問 ↓市長就任後の行動は、選挙で市民に訴えてきたイメージとまったくかけ離れている。ごみ処理場建設問題では四月の臨時市議会で、「綾部地区は見

直した方が合理的」と答えた。その後は「綾部を含めて」「市民の提案」「公募する」とか、本当はどうしたいのかさっぱりわからない。

答弁 ↓アルネ問題とごみ処理場を何とかしなければという強い使命感をもって選挙に臨み、当選させてもらった。その後の主張にぶれはないと確信を持っている。リコール（解職請求）の反省から市民の合意をきっちり取り付けることが重要だと思う。ごみ処理場建設は一刻の猶予もないが、従来の迷惑施設でなく、まちづくりの拠点という発想が必要。

百年後の夢のあるまちづくりについて

津山新星会議 近藤吉一郎



質問 ↓津山市の百年後の姿について夢のあるランドデザインを示しては。

答弁 ↓武道高校・大学ができればいいと思う。武道家が集まるだけでなく、全国大会を開催すれば地域活性化に

つながる。

質問 ↓教育に武道を取り入れては。

答弁 ↓学習領域は環境、福祉、国際理解、地域が対象となっており、武道は今後の検討課題としたい。

質問 ↓新市の道路網整備の見解は。

答弁 ↓地域連携による経済活動の回復を図るためにも市民の必要とする整備を計画的に推進していく予定。

質問 ↓津山駅周辺地区の整備の状況は。

答弁 ↓関係機関や地元と協議・調整を行い整備に向けた意識の醸成を図る。

質問 ↓テニスコートの日除け対策は。

答弁 ↓改善策を検討中。また仮設で対応。

道の駅設置はどうなったのか

新風会 松本 義隆



為、一定の予算を各支所の権限において完結できないか。ごみ処理場候補地が綾部地区以外に決定したら取得済み土地は塩漬け状態になるのでは。

答弁 ↓直売所は随所にあるが、どこに、どんな舞台装置が必要か、広域的な観点から効果がある適地を研究させてもらいたい。今後十分検討する。予算と権限を持つことは、地方自治体の中に市ができるようなもの。新市の一体感の弊害になりかねない。綾部地区以外に決定した場合、他の施設への有効利用を検討する。地元の理解が得られれば工業団地も可能と考える。

質問 ↓勝北地域に農産物直売所を併設した道の駅建設計画があり、地域住民は一日も早い建設を切望しているが何時頃から実施してくれるのか。旧町村が独自の事務事業を推進する